



杉並区議会議員  
杉並区議会自由民主党 幹事長

39歳



直球で  
真っ向勝負!

# 大和田 伸

おおわだしん  
大きな和

令和2年・夏号

区政報告

発行 大和田伸事務所 〒166-0003 杉並区高円寺南2-16-2 TEL:03-6768-9011

## ご挨拶

— Greeting —

日頃から温かいご支援を賜り誠に有難うございます。  
 昨年の今頃、国内はいよいよ一年後に迫った「東京2020大会」への夢と希望を膨らませていました。  
 果たして一体誰が、今日のこの大きな不安と悲しみに包まれた日本を想像出来たでしょうか。

しかし、私たちは、それでも前を向いて懸命に歩いていかなくてはなりません。私たちが生きている今日は悔しくも犠牲になられた皆さんが生きたかった今日なのですから。

昨年の杉並区議会の改選を経て、私は現在、コロナ禍において三年続けて杉並区議会自民党の幹事長として、区議会で15名を擁する最大会派を率いています。今、政治に求められているのはスピード感、そして実行力です。

このことを会派一丸となって身に刻み、区議会の議論をリードしていく覚悟です。更なるご指導、宜しくお願いします。

令和2年9月吉日

杉並区議会議員  
杉並区議会自由民主党

幹事長

大和田 伸

今号はコロナ関連の内容とさせていただきます



▲自民党会派の幹事長として臨む代表質問



▲コロナ対応で遅れを取るわけにはいきません!



▲改選後初の会派街頭報告(昨年5月)



▲自民党会派の仲間と。杉並区議会の中で最も多い『15名』が所属する会派です。

## 令和2年 杉並区議会報告

詳しくは内面をご覧ください。



コロナ禍において、まず至上命題とも言えるのが『医療崩壊を防ぐ』ことです。当区では全国に先駆けて、その取組みを実践し、それは国や都のモデルケースとなりました。

一方、コロナ禍は子供たちの学習機会を奪う等、『教育』の分野にも大きな弊害をもたらしました。私は文教委員として、1人1台の『タブレットPC』(※タッチ式デジタル機器)の導入の必要性を訴え、実現が叶いました!

## 地域医療の崩壊を防ぐ!

～区内基幹4病院(発熱外来)への独自支援!～

後日、当該病院に対しては、  
区が責任をもって監査を実施し、  
その助成金額の正当性を担保します!



コロナとの闘いにおいて、最後の砦となるのが『病院』ですが、病院側はその戦いに臨む態勢を整えれば整える程、負担は増え、その運営は厳しくなります。マンパワーに重い負担がかかり、万が一各地域で院内感染が発生したら、地域医療は崩壊に陥ります。

そこで区は、区内の基幹4病院(河北・荻窪・佼成・東京衛生)に、『発熱外来』(※感染が疑われる患者専用の外来診療スペース)を設置すると共に、その間の病院経営を支えるために、約22億円を助成し、地域医療を守り抜く姿勢を示しました。

本来これらは国や都が担うべき領域ですが、医療崩壊が目前に迫る状況の中、当区が先駆けて決断をし、実施しました。こうした杉並区独自の取組みは各方面で反響を呼んでおり、医療機関の経営支援が叫ばれるに至りました。



▲河北総合病院の発熱外来(屋外テント式)



▲河北理事長から貴重なお話しをお聞きしました

## 児童生徒の学びを保障!

～1人1台タブレットPCの配備を実現～

今般、国や都の補助制度も活用し、杉並区では正式に導入を決定。年内に、全区立小中学校の児童・生徒への、1人1台専用のタブレットPCが実現します!



杉並区立小・中学校は3月から約3ヶ月の間『臨時休業』となり、その間、児童・生徒は自宅待機を余儀なくされました。

そこで、各校は各家庭に課題のプリント配布や、動画配信を行う等の学習支援を行いました。残念ながらその内容は十分とは言えず、コロナ禍の終息を見通せない今日、保護者の皆さんから危惧するお声が多数、私たちの元に寄せられました。

そこで、注目されたのが『タブレットPC』を用いた「オンラインサービス」です。これにより、学校と家庭を双方向で結ぶことが可能となります。

勿論、これによって学校(教師)側の負担も増えますが、『使えるものは何でも使って、出来ることから既存のルールに捉われず臨機応変に何でも取り組んでみる』、この姿勢と向き合わないことは、教育現場、更には杉並の児童・生徒に対し無責任だと考えます。タブレットPC導入はその第一歩です!



▲導入に向けてはコスト面が課題でした



▲子ども達の順応スピードは早いです!

# コロナ禍における杉並区の態勢報告

区議会最大会派として議論をリード

杉並区議会では、今年度計6回に及ぶ補正予算(総額約670億円)を議決し、区はこれまで全86ものコロナ対策事業を実施して参りました!ここでは、その主な概要をお示しします! (※令和2年8月末日現在)

## 特別定額給付金給付 (\*全区民一律10万円給付)



▲行政書士の先生方が臨時相談窓口を設けて下さいました!

基準日(4/27現在)における杉並区民の数は約57万6000名で、当区の『申請書』については23区内で3番目に早い発送となりました。

しかし、「オンライン申請」(全体の約5%の方が利用)に必要な、マイナンバーカードの取得で窓口の混雑が生じた他、「郵送申請」の記入方法についても一部分かりづらく、混乱を招く結果となってしまいました。こうした点は、今後議会でもしっかりと検証を進めて参ります。

尚、当区の申請締切日は8月24日でしたが、区全体の申請率は約98%でした。

## 中小企業支援 (\*融資制度緩和・家賃助成)

杉並区の融資制度は、「借り手の利子負担が3年間0%」等、他区と比較しても優れた制度内容です。しかし、今はより多くの方にこの制度を活用して、危機を乗り切って頂かなくてはなりません。

私は議会でその事を主張し、対象要件の緩和(※売上減少の確認期間短縮)を実現しました。

また、当初は「飲食店のみ」を助成対象としていた、区独自の「家賃助成」も、議論の末その他の店舗にも拡大しました。

この緊急時に大切なことは「共存」であり、「分断」ではありません。



▲区内事業者の皆さんとも常に意見交換をしています。

## PCR検査体制の強化 (\*第2波・3波への備え)

区内では8月末現在、1日約70件の検査が可能ですが、今秋からは検査専用の『バス』を導入する等、今年度中に約4倍の1日300件の検査を実現します。

また、『PCR検査スポット』を区内基幹病院に設置する他、ご近所の複数の診療所でも検査が可能となります。

ここに記載のPCR検査数は、陰性を確認するため等、自己理由で行う検査は含みません。



▲現場の医療従事者はまさに命がけで臨んで下さっています。

## 文化芸術の振興 (\*すぎなみアート応援事業)

自粛要請で「文化・芸術活動」の表現の場が今、危機的に狭まっています。

そこで、区では『場』と『活動』、双方を守る取組みとして、感染防止対策等を徹底して活動を行っている団体や個人等に対して助成制度(総額2.3億円)を新設しました。

実は、この施策の実現には、私が参与を担う高円寺阿波おどり関係者の切実な「お声」も大きく関わっています。『文化の風薫る杉並区』、しっかりと守ります!



▲区立劇場である『座・高円寺』でも万全の感染症対策を講じています。

## 商店街クーポン事業 (\*後日、正式名称決定)

区内商店街の皆さんが大変なご苦勞をされています。今、最優先に求められること。それは何と言っても『売上げの確保』です。

そこで、区では今般、商店街でお買い物をした方を対象に、加盟店で使える『お買物券』を抽選でプレゼントする事業に補助金を交付します。

期間は今秋から年末にかけて2回!総額2億円分のボリュームなので、応募した方は高確率で一度は当たることが想定され、1等の1万円も多数含まれています。皆さん、是非お買物物は地元商店街で!



▲地元の皆さまのお声を原動力に、しっかりと施策を進めて参ります!

今後、どうなる?

# 杉並区を取り巻く諸々の環境

## 東京2020オリンピック・パラリンピック大会 開催に向けた準備態勢は?

東京2020大会が1年延期されました。決まった以上、私たちは前を向いて万全の態勢を準備しなくてはなりません。

杉並区は既にイタリア・ウズベキスタン・パキスタンの選手団の事前キャンプの受入れが決まっています。コロナ禍にあって、直接の交流は出来ませんが、日本フィルハーモニー交響楽団と連携し、事前キャンプに訪れる選手を応援するためのオリジナル曲を制作する等、来年に向けた取組みを進めています。どうか開催を願うばかりです。



▲区立体育館のバリアフリーを進める機運も高まっています。



▲永福地域にある国際規格の『ビーチコート』(開設時に視察した様子)

## 震災時における震災救援所 避難しても大丈夫?

コロナ禍においても震災はいつ発生するか分かりません。区では発災時、『震災救援所』(※お近くの区立小中学校等)を設置しますが、その避難に際し「感染症を危惧するお声」を耳にします。

そこで、今、各救援所では、対策に万全を期すために受付時の検温・区分け・換気・物品管理等、出来る限りの対策を講じています。

ご自宅での避難(在宅避難)が難しい際は、マスクを着用して、救援所への避難をお願いします。



▲災害はいつ発生しても不思議ではありません(※水防訓練の様子)

## 新・基本構想の策定 今後、10年間の区政の羅針盤

現・基本構想が次年度で期限を迎えます。区では当初、『新・基本構想』の議論を行う審議会を5月から開催する予定でしたが、コロナ禍において延期を余儀なくされておりました。

先月末ようやく第1回目が開催され、これから約一年半かけて、最後は議論の場を区議会に移します。

10年後の『杉並のあるべき姿』を皆さんはどのように描かれますか?『ウィズ・コロナ』を見据えての策定となりますが、皆さんのご意見をどんどんお聞かせ下さい!



▲しっかりと議論をリードしていきます!



ちなみに、23区で最も貯金額  
(\*財調基金残高:H30年度末ベース)が多いのが大田区の約660億円です

# コロナ禍における杉並区の財政

皆が団結をして未曾有の事態を乗り越えるために、大きな後押しとなるのが国や自治体からの助成金等であり、その主な原資は皆さんからお預かりする「税金」です。しかし、当然ながらこの原資には限りがあり、今、全国の自治体の政治手腕が問われています。

杉並区は今年度、コロナ関連で計86事業、約670億円を計上してきました(令和2年8月末現在)。その内、国・都からの支出金を除くと当区の支出額は約33億円。この事からも、日頃の区政運営における、国・都との『連携の大切さ』



▲区長に対し、最大会派として要望書を複数回提出!

が再認識出来ます。

一方、来年以降の『減収』が確実視される今(\*リーマンショック後の減収は4年間で200億円超!)、当区でも財政運営に一層の緊張感が求められます。

今般、品川区では独自に全区民への一律3万円(15歳以下は5万円)の給付を決め話題を集めました。残りの『貯金額』はわずか約21億円。これでは、今後の備えとして不安が残ります。

尚、阪神大震災の際の被災自治体の財政状況も参考に、杉並区では大規模災害の備えを含め、350億円の貯金を常に維持することを『財政のルール』で定めています。

今後ともメリハリを持った財政運営に努めます!



【財政健全化と持続可能な財政運営を確保するためのルール】

ルール①	大規模災害や経済事情の著しい変動等による減収に備え、財政調整基金の年度末残高350億円を維持に努めます。
ルール②	将来の区立施設の新築・改修需要に備え、毎年度、施設整備基金に40億円を目途に積み立てます。
ルール③	区債は、原則として赤字区債を発行せず、建設債についても、財政状況を踏まえつつ、必要性を十分検討して発行します。また、金利動向等を監視し繰上償還を行い、公債費の軽減に努めます。
ルール④	財政運営の弾力性を保持するために、行政コスト対税収等比率が100%を超えないように努めます。
ルール⑤	将来にわたって健全な財政運営を継続していくために、債務償還可能年数 <sup>※1</sup> が3年を超えないように努めます。

※1 当該年度の税収等に対して、資産形成を伴わない行政コストに支出された比率を示す指標  
※2 業務活動収支の赤字分を実質債員の償還に充たした場合に何年か償還できるかを示す指標

## 写真で見る 大和田伸の活動記録

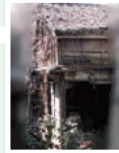
### 徹底した現場主義! スピードこそ最大の武器!



▲来年こそは阿波おどりでまちを元気に!  
(昨年の開会式の様子)



▲区内初となる「空家の解体行政代執行」を実施(昨年)



▲執行前の特定空家の状態



▲児童相談所への視察の様子。コロナ禍において虐待増加が懸念されます。



▲昨年の甲子園に出場した国学院久我山高校の表敬訪問



▲東京都との連携は不可欠です!



▲障がい者の「親亡きあとの課題」にもしっかりと取り組みます!



▲これからも皆さんのお声を聞かせてください!

## おおわだしん 大和田伸プロフィール

- ▶ 昭和55年9月9日生まれ(39歳) 申年 AB型
- ▶ 正則学園高校、二松学舎大学国際政治経済学部 卒
- ▶ 大学在学中より、石原のぶてる代議士の下で学生ボランティア。以降、秘書として10年修業
- ▶ 平成23年 杉並区議会議員選挙に初出馬。8115票を頂きトップ当選以降、3期連続トップ当選
- ▶ 現在、杉並区議会では3年続けて議会運営委員長(自民党会派幹事長)。
- ▶ 地元では東京高円寺阿波おどり振興協会特別参与、杉並区歯科医師連盟、西東京教育リーグ(野球)、杉並区軟式野球連盟、同学童軟式野球連盟、同ゲートボール連盟、同ダンス連盟、同バドミントン連盟・同聴覚障害協会、同肢体不自由児者父母の会、西成会等において役職を拝命
- ▶ 趣味は野球、マラソン等スポーツ全般
- ▶ 現在、三児(5歳・3歳・0歳)の父親として育児奮闘中!



本年6月に第三子(女の子)誕生

## 事務所のご案内



〒166-0003 杉並区高円寺南2-16-2  
TEL 03-6768-9011 FAX 03-6768-9012  
E-mail shin-ohwada.5509@jcom.home.ne.jp  
**お困りごとやご意見、また近くにお越しの際は是非ともお立ち寄り下さい。**